

入札説明書等に関する質問について

本件の入札説明書等に関する質問については、以下の事項に留意して質問すること。

1. 質問書の様式は、フォルダー内のEXCELファイルを使用すること。
2. ファイル名を会社名に修正し、EXCELファイルにて電子入札システム又は電子調達システムから提出すること。
3. 質問は、簡潔かつ具体的に記載すること。また質問数に応じて行を追加すること。
4. 契約後の協議変更に関する質問は、設計図書(特記仕様書等)に対する質問として提出すること。
5. 予定価格の類推が可能となる質問事項及び、積算基準等により常識的に判断出来る質問事項は対象外とし、これに該当する質問に対しては空欄回答とする。(別紙「入札説明書等に関する質問対象外の事例」参照。)

別紙

・入札説明書等に関する質問対象外の事例

質問事項の事例	対象外の理由
・工期設定に関して、想定された稼働率(稼働日数/暦日数)を提示していただけますか？	港別に、供用係数(休止率)は基準に明記されている。
・鋼管杭 φ1600 打設工の積算に関して、「港湾土木請負積算基準」記載の能力係数等については、E1=0(海象条件区分:陸上打設)、E2=-0.05(障害区分:障害あり)、及び E3=-0.05(施工規模区分:50本未満)と設定されているものと解釈してよろしいですか？	添付図面・施工数量等より、応札者側で判断すべき事項。
・積算資料の2社平均及び最安値のどちらの単価を採用されているのでしょうか？	『物価資料による場合は‘積算資料’‘建設物価’に掲載されている価格の平均値を採用する』と基準に明記されている。
・共通仮設費率の補正施工区分は、特定重要港湾を適用されていると考えてよろしいでしょうか？	施工位置図は添付されており、施工場所は明確である。
・本工事でのダンプトラックの運搬は DID 地区で計上されているかご教示ください。	施工位置図は添付されており、施工場所は明確。DID 地区か否かは判断できる。
・杭打ち用のクローラークレーンの規格をご教示ください。	クレーン規格は、吊荷重と作業半径から応札者側で判断すべき事項。
・電気防食工の積算は、「港湾土木請負工事積算基準」の維持補修工の電気防食を適用し、標準市場単価(既設構造物を基地として作業できる場合)と考えてよろしいでしょうか？	陸域施工としての条件は示している。また、新設工事であり、付属工 OR 維持補修工のどちらを用いるかは、判断できる。
・捨石本均し、被覆均しの潜水土の組数は、2組/日での作業と考えてよろしいでしょうか？	隻数の考え方は、施工数量と施工能力を元に、応札者として適宜判断すべきもの。
・千葉港を基地として往復のえい航費を計上しているとありますが、計上しているえい航距離をご教示願います。	‘千葉港を基地として’と明記している。応札者が自ら算出できること。
・本工事の採用積算単価について、何月度の単価を採用されているのかご教示願います。	積算単価は契約時期に鑑み、最新価格を用いる事が基本である。また、入札説明書・特記仕様書に関する事項から逸脱した質問内容である。
・コンクリートの運搬 1,753tは、コンクリート取壊し(鉄筋)、128m ³ 及び 573m ³ と考えますが、単位体積重量を 2.5t/m ³ と考えてよろしいでしょうか？	鉄筋コンクリートの単位体積重量 2.5t/m ³ は常識的な数値であり、発注者に確認する事項ではない。
・建設発生土の処分費はどの程度見込まれているかご教示願います。	「処分費はいくら計上していますか？」という、当局算定価格に関する直接的な質問である。
・クローラークレーンの1日あたり運転は、機械損料を業者持ち損料として計上していますか。または、リースによるものかご教示願います。	クレーン運転経費の考え方は、積算基準に掲載されている。